

本は『情報』という
宝の山！

としょえもん

学校図書館サポートだより 第3号（通巻7号）



「調べるのがおもしろかった！」
「もっと調べたい！」

—— 第七小学校 授業参観の記

10月26日（水）1年2組（小林あす香先生）の国語の研究授業を参観しました。自分で選んだ乗り物のはたらきとつくりを、図書資料から抜き出してメモを取る、というのがこの授業のねらい。第七小は「伝え合おう 思ったこと わかったこと～読書活動を通して～」の研究主題のもとに、2年間にわたって研究を続けてきていますが、この日はその研究授業のひとつコマでした。

調べてメモを取る

「さあ、始めましょう。」との先生の声で、子どもたちは一斉に自分で用意してきた本を取り出して、学習に取りかかりました。選んだ乗り物は、「はしご車」「スーパーひたち」「ホイロローダー」など多種多様。ワークシートに、手際よくメモを取っていきます。中には資料中の説明が詳しすぎて、どこを抜き出せばいいか悪戦苦闘する子もいましたが、先生の助言で無事切り抜けていました。

図書資料を選択する力

この授業のポイントは二つ、子どもたちが必要とする図書資料が十分に準備されていることと、その中から必要とする情報を抜き出す力を養うこと。いずれも「調べ学習」の入門期の指導としてとても大切だと思いました。はじめは先生が図書資料を準備してあげるにしても、やがてはたくさんの図書資料の中から選択する力が培われてきます。そして自分が必要とする情報を適切に選び取るスキルも身に付けていくの

本を選ぶ子どもたち（教室に集められた乗り物の本）



だと思えます。表題に掲げた子どもたちの自己評価の声が、こうした探求型と言われる学習の価値をみごとにいい得ていると思えました。

研究の成果に注目

第七小学校では、図書館活用教育に通じるこうした貴重な研究成果を、平成24年2月17日（金）に授業公開・研究発表する予定で準備を進めています。市内でも先駆的・先進的な研究として大いに注目したいと思います。

第3回学校図書館読書指導員研修会
平成24年1月18日(水)10時～
(会場 八王子市教育センター)

平成23年度学校図書館活用重点校の中から図書ボランティアのみなさんの活動を中心に発表をしていただきます。詳細は追って各学校へご案内をします。

問い合わせ：教育センター学校図書館担当
電話・664-1135

第2回 学校図書館読書指導員研修会

平成23年11月8日(火) 八王子市教育センターにて

今回は、実技に重きをおいて計画しました。そのため定員を設定せざるを得ませんでしたが、中味の濃い研修に皆さん満足された様子で、もっと時間があればという声もありました。

【講座】「実践！読み聞かせ 磨きあい、高めあう読み聞かせの輪」

講座は、A・B二つのグループに分かれ、市中央図書館職員の湯原直彦さん、上原美由紀さんを講師に、同一内容で研修を行いました。まず、講師から「読み聞かせ」についてその目的や歴史、子どもたちにとっての意味合いなどについてレクチャーがあり、その後、6～7人の小グループに分かれました。自己紹介の後、持参した本について、選んだ理由や対象学年、その本のよさ、ポイントを発表し合いました。ここで未知の本との出会いもあり、「知らなかった本に出会えてよかった」という感想が寄せられています。これらの本の中から、発表する本と発表者を決めました。その後、全体会にもどり、選んだ本についての説明と代表者による読み聞かせの実演がありました。代表者の皆さんは、それぞれに普段の読み聞かせ活動の様子を感じさせるすばらしい読み聞かせでした。以下は、参加された皆さんの感想の一部です。

「読み方によってとても引き込まれることを実感、参考になった」「聞き手になれたこと、新鮮で楽しかった」「グループの方とざっくばらんに体験談や疑問などについて話せてよかった」「他の学校の方との交流・情報交換ができてよかった」

研修会が終わっても、あちこちで交流の場ができ、みなさんが読み聞かせの話題で盛り上がっていたのが印象的でした。



グループでなごやかに
(講座)



講師の読み聞かせを
楽しんで
(講座)



みなさんの作品がず
らりと並びました
(講座)

【講座】「POPから始まる、読む楽しさ 伝える楽しさ」

講師は、学校図書館担当が務めました。

「POPとは何か」「POPに必要な内容」などの説明の後、「POPを作ってみよう」ということで、実習に入りました。皆さんが持参した本を使って、課題の「象さん型」のPOPづくりと自由作品づくりを行いました。出来上がった作品を、本とともに研修会場に展示し、全員で見ながら感想を述べ合いました。

アンケートには、「作りやすい方法を教えていただいていたがよかった」「色画用紙や色紙を使った作品は楽しいし、目も向き、“伝えたい気持ち”が形になると感じた」「他の方の作品をたくさん見ることができ、参考になることが多かった」「子どもたちが思わず手にとってしまうような工夫をしてみたい」「子どもたちの活躍の場を優先させるよう、先生や学校と相談しながらすすめるという視点も納得した」などの感想が寄せられました。

「楽しく参考になる研修会、ぜひまた参加したい」というお声に、担当者一同意を強くしました。

学校図書館 活用重点校紹介～その3～



平成23年度重点校24校の図書館を順番にご紹介していきます。

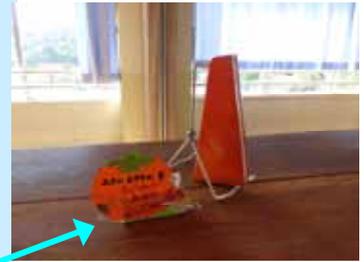
第十小

学校として取り組んでいる「ことばの森プロジェクト」をボランティアも応援。新着図書の展示準備をしています。(下)



由木西小

ボランティアさん作製のポップで新着本を紹介、早速借りられました！
(立っているのは代本板)



檜原小

整備された図書館で子どもたちも仲良く読書。ゆとりのできた書架には図書委員とボランティアさんが選んだ、食べ物の本が集めてあります。



館小中

ボランティアさんがポップ作りに挑戦中。面だした本と並べてたくさんのお本が紹介されました。



横山中

ボランティアさん作製のウェルカムボードがお出迎え。図書委員のポップで書架もにぎやかに明るくなりました。



中山小

絵本にラベルを貼っています。書架にもわかりやすい仕切り板が入りました。





学校図書館フポイントアドバイス 3 :本を紹介しよう!ポップ (POP)



横山中図書委員作成

POP とは商品を買う気にさせたり、売り場に興味を持たせたりする広告のことです。図書館での POP は、展示してある本の内容(情報)を伝えることと、読みたい・借りたいという気持ちにさせる、興味を持たせるという本の紹介カードとして使います。

POP には、本のタイトル・著者(作家) できれば分類番号・出版社や、興味を持ってもらうために、あらすじやおすすめしたい内容などを書くといいでしょう。イラストや装飾的な文字も効果的です。POP 作りは、児童や生徒にも簡単にできる楽しい作業です。「面だし」した本と一緒に、POP を置いてみましょう。

ミニ情報

日本郵便『カードを作ろう』 これからの季節にピッタリ。手作りカードを作ってみませんか。

<http://www.post.japanpost.jp/int/ems/greeting/make/handmade.html>

外務省国際協力局 『探検しよう!みんなの地球』 情報満載。世界の国を調べてみよう。

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sanka/kyouiku/kaihatsu/chikyu/>



(としょえものの訪問インタビュー)

清水小学校・居城 ^{いじろ} ^{ふみお} 文雄 校長先生

図書ボランティアとともに

今年度図書ボランティアを立ち上げられた、そのきっかけは何でしょうか？

清水小ではかなり前から、ボランティアの方々が学級単位での読み聞かせに活躍してくださっていました。今年度学校図書館活用重点校を受けるにあたって、図書館の環境整備を組織的に手伝ってくださる方を募ったところ、お子さんが卒業しておられる方も含めて、大勢の方に応えていただきました。改めて地域あつての清水小だと、実感しているところです。

今までのところ、手ごたえはいかがですか？

主に書架の整備や掲示物の充実のために助力いただいておりますが、教育センターの皆さんのアドバイスもあって、見違えるような環境になりつつあります。子どもたちも以前より図書館に足が向くようになってきましたし、ボランティアの方々も自分にできることで子どもたちの役に立っていることがうれしいと、やりがいを感じていらっしゃる様子です。

ボランティアの皆さんと接することについて、心がけていることはありますか？

無償で奉仕下さっている皆さんに、学校としての感謝の気持ちをどのように表すか、私は活動の様子やその実績を学校の内外に発信することが大切だと思っています。また、感謝の気持ちを持って接すると同時に、学校としてお願いしたいことをきちんとお伝えすることも心がけています。

今後に期待されていることをお話しください。

整備された図書館をどのように活用するか、これが今後の課題だと思っています。読み聞かせがもっと広がることで、子どもたちの読書量が増えること、また先生たちに図書館利用指導に力を入れてもらって、多面的な図書館活用ができるようになればと期待しています。

皆さんのますますのご活躍をお祈りいたします。 (平成 23 年 10 月 26 日取材)



平成 23 年第 3 号
12 月 5 日発行
(通巻 7 号)

八王子市教育センター 学校図書館担当

連絡先 電話 042-664-1135 / FAX 042-662-2988

住所 八王子市散田町 2-37-1

教育センター アドレス: b300700@city.hachioji.tokyo.jp